

## 信州の鎌倉散策と松茸グルメ旅（長野支部恒例、秋の小旅行）

長野支部 内藤 光春

暑く猛暑日の多かった記録的な夏も9月を過ぎ10月に入ると朝夕はめっきりと涼しくなり秋の気配を感じるようになりました。早生種のリンゴの収穫や田んぼの稲刈りも始まり、あの暑かった夏の事など忘れかけようとしています。

令和6年の支部総会で秋の小旅行に松茸狩りはどうかとの話になり、その計画を考えなければならぬ時期になりました。しかし、暑い日が多く雨も少なかったこの気候は松茸にとってどうなのか、松茸はどこに行ったら食べられるのかと分からぬことばかりで計画は進みませんでした。こんな時松茸産地で有名な別所温泉の近くに在住される友の会会員の池田國夫さんからこのようにしたらどうかと計画を提案していただきました。その内容はすばらしいもので、今回の行程を全てお任せし、お願いすることにしました。

別所温泉の周辺に点在する神社仏閣は「信州の鎌倉」と云われ、数えきれないほどの文化財があります。これらを案内していただいた後に、楽しみにしている松茸料理を満喫するというのが計画の内容です。

令和7年度秋の小旅行は「信州の鎌倉散策と松茸グルメ旅」と題して10月15日に実施しました。当日は薄日で暑くもなく、寒くもなく、風もなく最高の旅行日和となりました。古い歴史の宝庫「信州の鎌倉」を池田さんに用意していただいた詳細な資料をもとに現地案内をしてもらいます。先ず生島足島神社（いくしまたるしまじんじゃ）に向かいます。日本列島の真中（へそ）に建立され、朱色の神殿は莊厳で思わず頭を下げたくなります。戦国武将の願文、起請文、朱印状などが展示してあります。北向観音では、ちょうど64年ぶりのご開帳が行われており大変な賑わいでした。善光寺と北向観音は向かい合って建てられており、両方お参りすることで願いがかなうと云われています。次に安楽寺、八角三重塔です。日本でただ一つしかない珍しい八角の三重塔は国宝です。あまりにもすばらしいので記念写真を撮りました。昼食の時間となり予約の別所温泉まつたけの里「市坂山荘」へ向かいます。案内されたお座敷には松茸料理が数々用意されており、松茸のいい匂いが漂っています。大先輩の工藤さんに乾杯の発声をお願いし開宴です。どこから箸をつけていいのか分からない料理ばかり、そして予約をしていただいた池田さんの「顔」なのでしょうか、次から次へと料理が運ばれなかなか食べることがない松茸料理に大満足でした。しかも帰り際にはマツタケご飯をお土産に持たせていただき、家族への良いお土産になりました。

昼食後、後半の散策地、無言館を訪ねました。戦没画学生の慰靈美術館です。若くして戦争のために命を落とした学生の絵に強く、重く胸を打たれました。次に前山寺へ、未完成の三重塔が有名です。この他にも見るべき中尊寺や龍光院などあります、時間の関係でここまでとなりました。ここで池田さんと中村さんに参加者全

員で大きな拍手で感謝しました。

支部としては友の会の増員を図るため、この小旅行を機に過去に退会した人や会社を退職するときにハ友会への勧誘がなかった人などを対象に入会を勧める活動をしました。過去に退会した人で家庭内での介護の問題もなくなり比較的自由になった、又、体の不調も回復して外出もできるようになったとの事でこの2人の女性が入会に同意してくれた。次に勧誘の無かった人では、ハ友会と云うのは特別の人達の会と思っていた。友の会の活動は旧友と会える楽しみや小旅行が楽しみという事で3名の女性が入会に同意。又、現会員が昔働いた仲間に声をかけてみることで入会していただいた女性1名で計6名の新友の会会員の増加となりました。今回的小旅行にこの6名の人達の参加で、女性8名、男性6名の計14名の参加となり支部恒例の小旅行としては過去最高の参加人数となりました。新しく入会された女性達からは、こんなに楽しい小旅行なら次回もぜひ参加したい、そして皆と又会いたいネーなどあちらこちらから聞かれ有意義な小旅行となりました。

これからも活発で楽しく皆が集まれる支部活動にしたいものと思います。

### 生島足島神社



後列左から 小池、小宮山、中村、矢島、池田、橋本、工藤、北村

前列左から 伊部、内藤、水野、吉岡、小島、酒井

※小島（旧姓 相澤） 酒井（旧姓 清水）

## 安楽寺八角三重塔



後列左から 内藤、小宮山、工藤、酒井、小池、矢島、中村、水野

前列左から 北村、池田、吉岡、伊部、小島、橋本

以上